

# 書道科

## 教科の目標等

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、感性を豊かにして書の伝統と文化についての理解を深めることが目標です。

「楽しい書道」をモットーに指導しています。初心者でも書道に馴染め、楽しく作品制作に取り組めるよう工夫しています。



## 本校での取組・特徴①

書道Ⅰは、楷書体・行書体の基本を古典作品から学んだ後は、好きな一字を色紙や団扇に書く創作を行います。仮名(俳句)や硬筆も学習します。漢字・仮名混じりの書として、好きな詩の一節を作品にします。また、セラミックボードに文字を刻む刻字や篆刻にも挑戦します。

書道Ⅱでは、隸書体・篆書体・草書体という古い書体の学習も行います。仮名は百人一首に挑戦します。漢字・仮名混じりの書は字数を1年次より増やし、作品制作の自由度を高めます。刻字は木板を用い、彫り方や仕上げにも工夫を施します。

書道Ⅲでは、卒業制作に相応しい練度の高い作品制作を行います。また、書造形演習や書道演習では、初めて書道を選択した生徒も、作品制作を通して書を愛好する心情が育まれるよう、授業内容を工夫しています。

授業作品を廊下に展示するなど、作品発表の場も設けています。



## 本校での取組・特徴②

### 美術・書道作品展(美書展)

毎年、3学期(1月末)に、美術科と共同して「美術・書道作品展」を本校ウイステリアホールで開催し、美術・書道選択者全員の作品を展示しています。

1年間で制作した、漢字作品・仮名作品・刻字作品・漢字仮名混じり文作品から、少なくとも全員1点を発表する形にしています。互いが批評し合ったり、保護者や外部観覧者の方に感想を書いてもらうなどして、毎年活気ある作品展になっています。

\* 詳しくは[「美書展」のページ](#)へ

